

歩行者用横断防止柵の粗雑工事について

記者発表資料

1. 粗雑工事の概要

- 平成18年5月、横浜国道事務所が管理する一般国道16号の横浜市旭区における舗装修繕工事で、歩道と車道の境にある歩行者横断防止柵の埋め込み深さ不足の支柱が11本発見された。
- 当事務所で、横断防止柵を設置をした北川ヒューテック(株)に対し事情聴取を行ったところ、同社は、平成16年2月～3月に設置した延長2950mの横断防止柵のうち、ほとんどの支柱を切断して設置したことを認めた。
- 全横断防止柵の支柱の埋め込み深さを引き抜き及び非破壊検査で実施したところ、埋め込み深さ不足のものは1225本中956本です。
- また、合わせて当事務所管内で同社が過去10年間に施工した防護柵の設置が含まれている全ての工事について、支柱の埋め込み深さの確認調査を行うことを指示しており、7月末日までに調査を完了する予定です。

2. 修補工事の実施

- このため、当事務所では、北川ヒューテック(株)に対して6月8日に当該工事の修補請求を行い、同社が同日付で応諾したため、来週から修補工事を行うこととなります。
- 道路利用者及び沿道にお住まいの方々にはご迷惑をおかけ致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。

平成18年 7月 7日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ	神奈川建設記者会
神奈川県政記者クラブ	横浜海事記者クラブ
横浜市政記者会	川崎記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所
副所長 星野辰雄
工事品質管理官 江澤 進
電話 045-311-2981 (代表)

別 紙

1. 粗雑工事の概要

(1) 工事の請負契約内容

工 事 名 : 平成14年度保土ヶ谷管内情報BOX設置(その3)工事
工事場所 : 別紙位置図
請負金額 : 207,900,000円
工 期 : 平成14年12月25日～平成16年3月31日
請負業者名 : 北川ヒューテック(株)関東支店
工事内容 : 情報BOX設置工、アスファルト舗装工、横断防止柵工

(2) 粗雑内容

契約図書(設計書)では、支柱の埋め込み深さは100cm必要であったが、その支柱を切断し、設計値より短くして設置していたものである。
横断防止柵の設置延長 2,950m(支柱本数 1,225本)

(3) 埋め込み深さの確認の状況

全横断防止柵の支柱の埋め込み深さを引き抜き及び非破壊検査で確認した結果、埋め込み深さ不足のものは1225本中956本の埋め込み深さ不足があった。

(4) 支柱の埋め込み深さを短くした理由(北川ヒューテックに対する事情聴取結果)

現場代理人自らの判断で短くすることを指示、
①占有物件である既設の地下埋設管に当たる恐れがあること
②一部沿道住民から支柱の打込みに対する騒音の苦情を受けたこと。
③工期が迫っていたこと
などから、国道現場から離れた資材置き場で支柱を切断し、埋め込み深さの不足した支柱を設置した。

2. 修補工事

粗雑工事箇所について、全ての支柱を交換する修補工事を北川ヒューテック(株)が地元説明を行った後に実施します。
工事予定 7月中旬頃～9月30日

3. その他の工事の確認

北川ヒューテック(株)が過去10年間に施工した防護柵の設置が含まれている全ての工事(5工事)について、非破壊により埋め込み深さの調査を実施しています。7月末日までに調査を終了する予定です。

工事名

- ①西谷舗装修繕工事
- ②生麦(2)舗装修繕工事
- ③串橋舗装修繕工事
- ④金沢電線共同溝(その2)工事
- ①赤松電線共同溝工事

位置図

平成14年度保土ヶ谷管内情報BOX設置（その3）工事



横断防止柵



